

宇津木台 森遊会 実施報告

「第2回定例活動」

No.2017-02

実施日	2017年5月28日(日) 9:30~12:30	天候: 晴れ	記録: 金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者: 5名(男性3、女性2) 矢島、徳田、伊東、中村(弘)、後藤 インストラクター: 金森		

実施内容

活動7年目の第二回目。5月26日に予定した八王子市立石川中学校2年生約200人による体験学習授業は雨天中止となった。授業では笹を刈り、低木を皆伐して明るく綺麗な雑木林に蘇らせることにより身近な緑や環境に興味を持ってもらう狙いがあった。直前の雨脚は強く、小雨が残る可能性があった。雨が止んでも湿度は高い、木々から滴が落ちてくる。笹を刈ればびしょ濡れになる。この体験が苦痛な思い出、トラウマになるのを避ける意味でも中止で良かったのではないだろうか。

事前の5月22日に張った青色のビニールテープを回収する。

小川の下流に土嚢によるダムがある。この中に見えないと思って捨てたのだろうか、大量の家庭ゴミを見つけたので回収する。沼地になっており靴が潜る。周辺の雑木を伐って浮かせて足場を作り、作業を進めた。

ボランティア袋6個は緑地の管理をされているノースパークさんに引き取りを依頼した。

竹林では先月の定例活動で駆除しきれなかった筍が竹になる直前まで伸びている。約50本の竹を伐って密度を維持する。伐った後の始末はできていない状態だが元の竹藪に戻ることは避けたい。

伐った後の始末はどこかで集中して行う必要がある。焼却やチップによる処分は使えない。

日差しは強く、気温は高く、既に蚊が発生している。駐車場に戻り道具の手入れをして解散した。



コンサート広場に名前のわからない植物



体験学習授業用(雨で中止)に準備したテープを回収する



来年は晴れて欲しい



小川の下流に捨てられた家庭ゴミ



沼にはまりながら回収する



不法投棄はやめていただきたい



ボランティア袋6個になった



先月の活動で筍を全て駆除したつもりだったが50本ほど筍から竹に成長している



残念ながら穂先筍として食べるには遅かった



連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋6個を小川下流の歩道、大1個を指定の場所に置く。